

# 九品仏地区 社協だより No.198



発行者：九品仏地区社会福祉協議会  
事務局：社会福祉協議会 九品仏地区事務局  
世田谷区奥沢7-35-4  
九品仏まちづくりセンター内  
☎070-3946-9797  
<https://www.setagayashakyo.or.jp>

## 第1回福祉施設等ネットワーク会議を開催！



### ★関係機関10団体

九品仏まちづくりセンター
九品仏あんしんすこやかセンター
等々力児童館
奥沢福祉園
九品仏生活実習所
グループホーム奥沢・共愛
地域障害者相談支援センター ぽーとたまがわ
デイホーム玉川田園調布
一般社団法人輝水会
九品仏地区社会福祉協議会

11月7日(木)に、令和6年度第1回九品仏地区福祉施設等ネットワーク会議を開催しました。

この会議は九品仏地区の福祉施設・事業所間のつながりを生かし、情報交換を行うことで地域や施設間の交流を促進していくことや、子ども、障害者、高齢者など施設種別を超えて協議をしていくことで、地域課題の解決に取り組むことを目的としています。

コロナ禍以降地域活動や施設行事が再開していく中で、地区内の福祉施設・事業所間で、自施設の取り組みの共有や、意見交換をする場が少ないという声から今回初めて実施しました。

今回の会議には地区内の関係機関である10団体(★)が出席しました。主に福祉施設の取り組みの現状や課題について共有し、地域住民、施設利用者や福祉関係者が顔の見える関係となり、日ごろから連携・協働できる基盤づくりを目指すことを確認しました。今年度は、地域・福祉施設同士の交流を促進していく取り組みとして、四者連携(※)主催事業の「ポッチャ交流会」を福祉施設の利用者や地域住民を対象に開催する予定です。社会福祉協議会では、今後も様々な関係機関や活動団体と連携しながら、九品仏地区のネットワークづくりに取り組んでいきます。

(※)九品仏まちづくりセンター・九品仏あんしんすこやかセンター・等々力児童館・九品仏地区社会福祉協議会

## 5年ぶりのバス交流会



11/27(水)九品仏地区社協主催で5年ぶりとなる日帰りバス交流会を開催しました。前日の寒さが嘘のような暖かな一日、大型バスに31名ゆったりと出かけました。9時に浄真寺を出発。おしゃべりする方、車窓を楽しむ方…バスは紅葉の始まった東京の街を走りました。最初の目的地国立博物館に到着し、「はにわ展」を見に行く、本館をゆっくり回るなど様々でした。スタッフはおそろいの緑のジャンパーやベストを着ていますが、参加者は、はぐれた時用の「連絡先カード」を緑色のネックストラップで下げ移動しました。スカイツリータウンでお昼を食べ、集合時間までは自由行動。お買い物する、お茶を飲む、アイスクリームを食べる…皆さま散策時間を楽しみました。日本銀行貨幣博物館では、空港さながらの持ち物検査から始まりました。「こんなお金あったのね!」「あらこのお金懐かしい!」と話題は尽きません。

夕日が傾き始めたので10分早く皇居に向かいました。皇居は和田倉噴水公園から皇居前広場に入り下車。坂下門から二重橋壕沿いに二重橋まで歩き、楠木正成像を越えてバスの待つ駐車場まで歩きました。帰途はつるべ落としの夕日に代わり夜のライトが輝き始めていました。

国立博物館にて。

「ハローキティ展」も同時開催されており、多くの人が訪れていました。



## 赤ちゃん・子どもの救命/応急手当講座を開催!

11月13日(水)NPO法人シーボウル海の教室中村智子先生を講師にお招きして、社協と子育てサロンつぼみの共催「赤ちゃん・子どもの救命/応急手当講座」を開催しました。いざという時にも慌てず対処できるよう知識を深めたり相談窓口を確認するなど、日頃からの備えはとても大切です。

今回の講座では、家庭内で起こりやすい事故や病気の現状を知り、傷や打撲、火傷、誤飲で中毒になった場合の救命方法や応急手当について、等身大人形を使った実践を交えながら学びました。ご参加された11組のママ・パパさんたちは皆さん熱心に受講されていて「とても勉強になりました。」などの感想をいただきました。(主任児童委員 T)

実際にダミー人形を使って  
実演も行われました。

